

## 活動報告書

### 今月の主な活動

5月18日ようやく今年の配蚕が始まりました。何度見てもベビー蚕は見慣れない。種類の違いなんて全く分からない。これを育て分けしてる農家は大変です。88歳大ベテランの石井さんはこの歳になってもこの日は緊張すると初心を忘れない姿勢がステキです。

養蚕農家が減っていく中でまだまだやる気のあるシニア農家の存在はまぶしく、この人たちを街の象徴にしたいと本気で考える日々です。



アーツ前橋で開催中の山縣良和個展「ここにいてもいい」も見に行ってきました。ファッションデザイナーで素材についても語っている展示で絹についても触れていました。

トークショー「蚕と日本人の古今東西」と蚕、絹糸について語るのかなと期待していったのですがあまり具体的な絹の話題には広がらずちょっと残念ではありましたが、山縣さんとお話できる機会があり、「富岡市でもシルクについての展示をしませんか？」とシルク産業の問題と課題のアピールだけはできたので何かイベントが作れたらいいなと考えています。

<https://www.artismaebashi.jp/?p=19899>

そして十日町市で開催されたシルクのまちづくり市区町村協議会総会に参加させていただきました。遠方からもシルクに関わる人が集まり友禅の制作現場を見学させていただいたり、博物館を見学したり糸の変遷や職人技を見ることができ、友禅の着物は高級なことまでは知っていましたが、実際の工程をみたらそれだけの手間暇がかかっているのが良く分かる現場でした。地域おこし協力隊になったおかげで参加できたので有意義な旅でした。



### 今後の予定

しばらく養蚕農家が忙しくなりますが、私も何かしようとお富ちゃんの貸し出し自転車を使って市内を撮影することにしました。1度、テスト試乗で貫前神社まで行ってみましたが、電動とはいえ久々の自転車に筋肉痛になりました。自然も山も方々にある富岡市の景色と養蚕の世界を伝える写真が集められるよう、走り回りたいと思います。